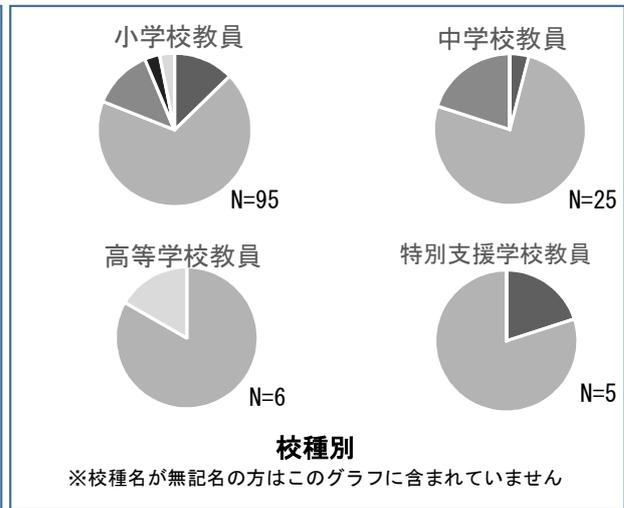
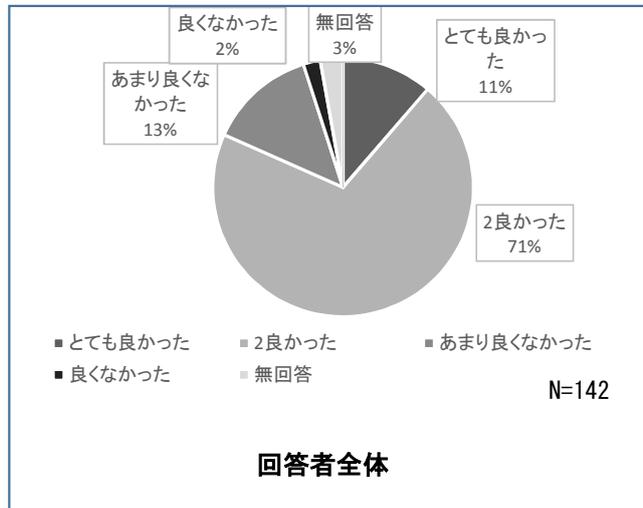


【教員等】

平成28年度「学校と地域を結ぶコーディネーター担当者」等研修 (しが学校支援メニューフェア) アンケート集計結果

■期 日：平成28年7月29日(金) ■会 場：ピアザ淡海
■対 象：小・中・高等学校・特別支援学校教員 [142名より回答]

Q1 本日の講義はいかがでしたか



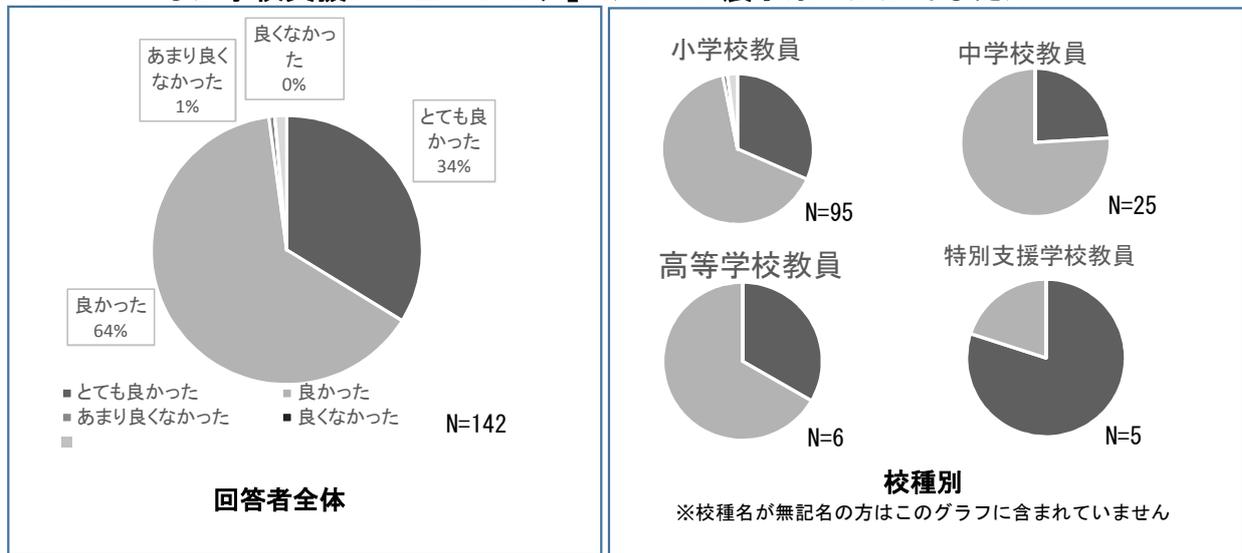
理由等自由記述欄より

■以下、アンケートの記述欄から抜粋して紹介します。
■記述内容により、いくつかのカテゴリーに分けてあります。
■企業・団体・NPO等の方を以下【支援者】と標記させていただきます。

● 【講義の感想】

- わかりやすくポイントをしばった話であった。コーディネーター担当者の役割について学ばせていただいた。また、他県での実践を知ることもできよかった。
- 実際に小学校現場でされている実践を交えた内容であり、自校でのシミュレーションをすることもできた。
- 具体的な活動を知るよい機会となった。様々なポイントを丁寧に解説していただき、また指針を示していただき大いに参考になった。
- これまで「生徒たちにとってよい取組を用意できるように」という思いで、地域の方を講師に招き取り組んできた。今回、「学校と地域を結ぶこと」が大切であること、自分も相手もhappyになれるものに工夫することを学ぶことができハッとした。今年度の実践に生かしたい。
- コーディネーター担当者は、共生社会の「縁を結ぶ人」というスタンスはよくわかった。また、ボランティア活動とは、自分も相手もhappyになるために互いに心を配り合う誰にでもできるソーシャル活動ということで、肩をはらずに考えていた自分が楽になった。
- 校務の合間を縫って、いろいろな連絡を取りコーディネーターするのはなかなか難しい。しかし、本物に出会って活動することが子どもたちに与える力はとても大きく、できるだけ有効な学習をセッティングしたい。コーディネーター担当者として大切にすることなどがわかりやすかった。
- 学校と地域がつながっていく上で、「協働」というキーワードでどうコーディネーターしていくのかを教えていただけてよかった。
- 「協働」というキーワードについて知ることができた。コーディネーター担当者としての意欲に火がついた。
- これからの学校教育を進めていく上で、学校・教員だけでやっていくのは難しいわけで、今も様々な方の支援を受けているが、これからは「協働」という視点で進めていくことの大切さを感じ取ることができた。
- 「支援」から「協働」への意識改革が必要という話はなるほどと思った。地域ボランティアの方にも聞いていただきたい話であった。
- 「ボランティアは学校を変える」という言葉が印象的だった。地域の方と連携を深めていきたいと思った。
- ボランティア活動の実例をもとに、学校と地域を結ぶコーディネーターの大切さがよくわかる内容であった。昨年12月より支援から協働への意識改革が行われた。その要点も7つの原則にまとめてあり、わかりやすかった。
- パートナーシップの7つの原則、win-winではないが、happy-happyは参考になった。
- 「地域の人材を活用するということはそんなに構えなくてよい。」・・・これを聞き、気が楽になった。
- 教員だけで聞くのはもったいないような内容の話で、地域・保護者の方々とともに聞く場を持てるとよいと感じた。ともに手を取ってよい方法を探るには、同じように話を聞いてからの方がスムーズに取組ができそうだ。

Q2 「しが学校支援メニューフェア」のブース展示はいかがでしたか



理由等自由記述欄より

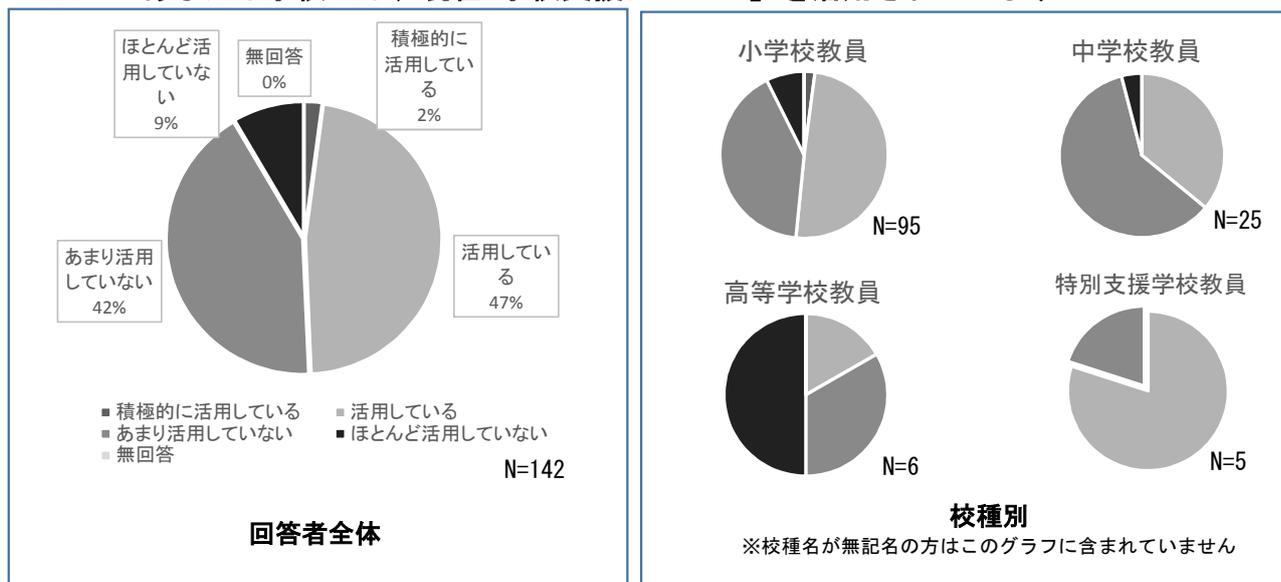
● 【ブースを見学しての感想等】

- 支援者の方の熱い思いが伝わってきた。是非お願いしたいと思うものがたくさんあった。
- 多くの企業・団体の皆さんのボランティア精神に支えられていることを改めて痛感し、感謝申し上げたい。
- これだけたくさんの企業・団体等の方が学校を支援したいと取り組んでくださることに感動した。学校や子どもたちが社会に支えられていることを実感した。
- 多岐にわたったブースがあり、学校への支援・手助け・出前授業は難しいと感じていた自分が、単にこんなに支援の方法があることを知らなかったただけだということを実感した。魅力的なプログラムが多いので活用につなげたい。
- 実際に話をさせていただき、物を見せていただき、どのようなことをしてもらえるのか、どう一緒に授業を創っていけるのかを具体的に考えることができとてもよかった。
- 出前授業等でおもしろいと思うことが、直接話を聞くことで具体的にイメージできた。例えば科学クラブでの体験に生かしたり、図画工作科での鑑賞授業につなげたりするなど。
- これまで学校支援メニューは小・中学校向けで、高等学校では利用しにくいという先入観があったが、高等学校でこそ積極的に利用したいものも多く、大変参考になった。
- 今までお世話になった支援者の方もおられ、これまでは電話対応のみだったため、今回顔を合わせて話すことができよかった。また、直接話をする中で、支援内容等について細かく確認できてよかった。
- 大変熱心に、丁寧に説明いただいた。現在も年間数回学校支援メニューを活用しているが、今後も継続していきたい。新たな発見もあり現場に持ち帰りたい。支援メニューの冊子だけではわからないよさが、生の声によりわかりよかった。
- たくさんのブースがあったので、事前に各教科の先生方に支援内容を聞きたい支援者を伺っておいたり、本校に必要と思われるものを考えておけばよかった。

● 【今後の希望等】

- 活用できそうなブース展示に出会うことができよかった。もっと多くの方がこういう機会に参加したいと思っているのではないかな。
- いろいろなブースがあり、直接話を聞けたことがよかった。可能ならば、コーディネーター担当者のみにこういった催しをするのではなく、学級担任等にも広く公開していただけるとありがたい。
- 種類別にブースが設けられていてわかりやすかった。コーディネーター担当者として今回参加したが、学級担任であればもっと有効活用できるのではないかなと思う。社会科や理科、総合的な学習の時間の主任が直接関わった方がよいのではないかなと思う。
- 学級担任が参加する方がよいと思う。10年次研修等の年次研の悉皆研修として取り入れることによって、活用を検討してもらえそうな気がする。
- 実際どのような授業が展開されるのかを考えながら話を聞くことができた。ブースが多くあるので、落ち着いて話を聞くことができるように、会場がもっとゆったりしていればよいと思う。
- 小学校向けは結構あるが、中学生が食いつくような内容をさらに充実していただきたい。

Q3 あなたは学校では、現在「学校支援メニュー」を活用されていますか



理由等自由記述欄より

● 【積極的に活用している】または、【活用している】方の理由等

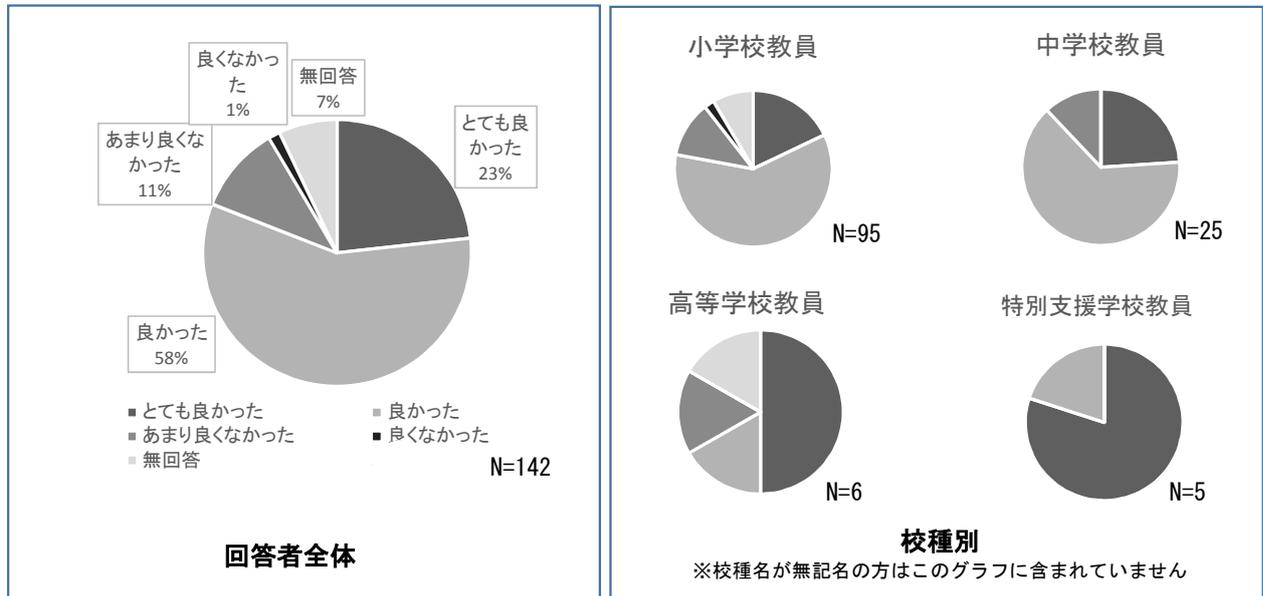
- 子どもたちや先生方のニーズに合う活動が多くあるため、大変満足している。
- 子どもたちにとって教育的な価値が高いと思うので活用している。
- 生徒たちに様々な人、もの、文化に触れてほしいので活用している。
- 子どもたちに多様な大人に触れてもらいたい、また学習内容に広がりや専門性を持たせたいので活用している。
- 専門的なことを教えてもらえるので活用している。ゲストティーチャーとしてお願いしている。
- 学校の教員が少し勉強したぐらいではしっかりと専門的に子どもに伝えられないことや、同じことでも外部の方から伝えていただくことで、より子どもの心に入りやすいと思える場合には来ていただくようにしている。
- 子どもたちの表情がパツと明るくなり、モチベーションが一気に上がるので活用している。
- 年間計画に組み入れ活用している。
- 総合的な学習の時間や学校行事等で、その都度活用させてもらっている。
- 必要に応じて、学年やPTA等で活用している。
- 無理のないよう、教育効果を上げられるようプログラムを取り入れている。

● 【あまり活用していない】または、【ほとんど活用していない】方の理由等

- 地域に協力的な企業・団体等が多く、学校独自で連携が進められているため、「学校支援メニュー」はあまり活用していない。
- 地域連携の中で、地域ボランティアや官公庁、企業の協力が得られる状況にあるので、「学校支援メニュー」はあまり活用していない。
- 教員に負担なく学習効果が上がるように教育課程に位置付けることが難しく、十分活用されていない。
- いくつか活用しているがまだまだである。年度が始まってからとなると、組み入れるのが難しい。
- 出前授業や校外学習等、2～3メニューを学年別に活用している。これ以上増やすのは時数の関係で難しい。
- 現実的にある行事等に手いっぱい、新規のことになかなか手を出しづらいため。
- 担当者のPR不足が大きい。今回得た情報を含め、再度職員に周知していきたい。

- ・ 学校支援メニューがあることは認知していたが、自分と関わりがないものについては関心が持てず、みんなに情報提供することもできていなかった。
- ・ 活用していきたい考えはあるが、校内の議論が十分ではないと思う。積極的な活用を考えたい。

Q 4 今回の情報交換はいかがでしたか



理由等自由記述欄より

● 【相互理解を深めることについての感想等】

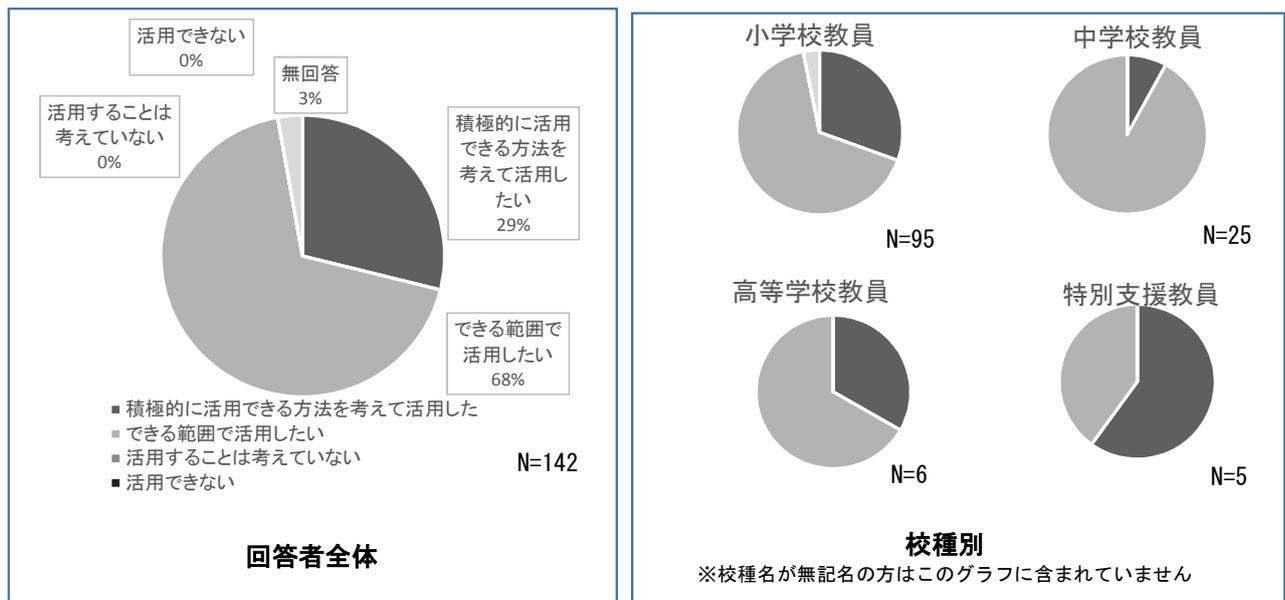
- ・ 学校と企業、それぞれの取組についての情報を聞くことができよかった。依頼する側、される側の両方の実践内容や思いを聞いたことを今後参考にしていきたい。
- ・ 支援者の実践報告がとてもよかった。興味を持たせてもらったので、活用できるか検討したい。
- ・ 支援者の方が、これ程の思いを持って取り組んでくださることを知り驚いた。
- ・ 他校の様子がわかった。見習うべきことも、大差ないことも。また、どこも同じような悩みや困難さがあるということも知ることができた。
- ・ 実際に多くの支援者と交流されている学校や、支援者の方の思いを知ることができてよかった。
- ・ 実践報告で実際の試みを教えていただき、取り組んでみようという気持ちが大きくなった。
- ・ 「気軽に活用してほしい。」と支援者の方がおっしゃってくださったので、堅苦しく考えず利用しようと思えた。
- ・ 他校の実践や地域とのつながりが知れてよかった。また、支援者の側からの思いや期待を知れてよかった。
- ・ 支援者の思いやねらいが聞けたことがよかった。支援を受ける側と支援する側のそれぞれのねらいや要望、本音を出し合うことが大切だと感じた。
- ・ メニューフェアでよい支援者を教えていただいたが、打合せの時間や学校のニーズと支援者の活動のズレなど不安要素もある。他校の先生方と支援者の方と、腹をわって話し合うことができた。
- ・ 支援者の方と学校支援についてざっくばらんに話し合えて、「学校支援メニュー」の在り方が改めてよくわかった。
- ・ 学校サイドの実態も知ってもらった上で支援者の思いが聞けて、互いの改善点が見えてきた。今後、支援メニューを有効に活用していきたい。
- ・ コーディネート担当者として校内でどんな動きをすべきか、企業や団体にどう橋渡しをすればよいのか、今までわかっていなかったことが見えてきてよかった。
- ・ 話す場所がやや取りづらかったが、一緒に話をさせていただいた方と同じ時間が持てたことを幸せに感じた。

● 【今後の希望について】

- ・ 「学校支援メニュー」をどのように利用できるのかよくわかった。次年度に向けて検討していきたい。

- 意見交流できたことがよかった。悩み等が共有できた。もう少し話し合いの時間があると、また話し合う内容が早くからわかっているとありがたい。
- 充実した時間であった。短時間であったのが残念。意見交流で話し合う支援者の方に交代していただき、もう少し話し合う時間を取ってもよかったのではないか。
- 実践報告は、もっと発表者の話を聞きたかった。
- 希望する企業やNPO等と話ができるとよかったか。企業としての本音が聞けたのはよかった。

Q5 今後、「学校と地域を結ぶコーディネーター担当者」等として、「学校支援メニュー」を活用することについて、あてはまる番号を○で囲んでください。



理由等自由記述欄より

● **【活用を進めていきたい】**

- 子どもたちの学習の広がりや深まりに役立つと思われるので積極的に活用したい。8月の職員会議で伝えたい。
- 夏季休業中の研修で全体に広げ、活用について考えていきたい。
- 見学して、おもしろいなと思う活動も多くあった。コーディネーター担当者として積極的に情報を発信していきたいと思う。
- 今まで担任をしながら、「こんなことを教えてもらえるものがあればなあ」と思っていたものがたくさんあることを知り、是非いろいろな学年で活用できるように担任の先生方にも広めていきたい。
- 子どもの体験的な活動の枠を広げるには適したメニューである。コーディネーター担当者が支援メニューを理解し、学校とつなげなければならないと思った。
- 子どもたちが様々な職業の方と出会い、生き方を見つめることのできる体験活動を中心に据えているので、積極的に活用したい。
- 地域と関わる力を子どもたちに育ませるため、積極的に活用したい。
- 現在取り組もうとしているテーマについて具体的な話が聞けたので、積極的に活用したい。
- 「体験を繰り返しながら育っていく」ことを実践することができる。本校の子どもたちに必要なことを見極めながら活用していきたいと思う。
- 教師が動き出すことが子どもへの効果につながると考えているので、積極的に活用したい。
- 日程調整等積極的に行い、できる範囲で活用したい。
- 今まで限られた内容でしか実施してこなかったが、様々な分野の内容で支援していただいていることがわかった。実態に応じて活用していきたい。
- 勤務校に合わせた、子どもたちの実態に合わせた支援メニューを選択したい。

● 【年間計画等見直し】

- ・ 学校の忙しさもあるが、教育効果が高まるものについては時間をやりくりしてお願いしたい。
- ・ 時間的余裕がないと活用できないが、担任の先生方と相談して活用できるようにしたい。
- ・ 教育課程、行事、日程等調整をできる範囲で行い、今後できそうなものがあるか検討していきたい。
- ・ 学校行事、学習内容等を検討した上で活用したい。
- ・ 行事とうまくリンクさせたい。

Q6 その他、自由記述

- ・ 支援者の方々と直接お話しできて、つながることにもっと前向きになろうと考えられるようになった。
- ・ たくさんの支援者の方々がいてくださることを知り、学校で知らせ、広げ、活用につなげていけるように努めていこうと思う。
- ・ たくさんの資料を是非学校でも紹介し、子どもたちに本物の体験をさせていけるように働きかけたい。
- ・ 今日は貴重な機会だった。一応すべてのブースを見て回り、膨大な資料をいただいた。持ち帰って整理して、先生方に伝えたい。
- ・ 初めて参加したが、とてもよかった。他の先生方が来られない分、学校に持ち帰ってしっかり伝えていきたい。
- ・ 資料が充実していてわかりやすかった。
- ・ メニューフェアでいただいた資料は、校内研で説明し校内で回覧したい。1学期に実施したかったと思うメニューもあり、来年度に向けて検討していきたい。
- ・ ブースの展示がよかった。私は2回目の参加だが、体験したことのすべてをなかなか学校の職員に伝えることは難しいので、コーディネート担当者といわず、これまでブース展示を体験したことのない先生方に参加してもらえるとよいと思う。
- ・ いくつか回れなかったブースがある。もっとゆっくり支援者の方と話したかった。
- ・ ブース見学的时间を、もっとたっぷりほしかった。
- ・ 参加いただいた支援者の各団体には、たくさんの資料をいただきありがたかった。高等学校はクラスが多いが、校内で情報を共有できるようにしたい。
- ・ 「時間にゆとりがあれば、もっともっと活用したいのに・・・」これはきっと他の先生方も思っているだろう。子どもの学びの質を深めるためにも、もっと活用したい。
- ・ 大変有効な内容の支援がたくさんあってありがたいが、コーディネート担当者だけで学校の教育課程の中に組み入れていくのは難しいので、1つずつ増やせるように努力したい。
- ・ いくつか活用したことはあるが、事後の反省・評価についてのコミュニケーションが不足していると感じた。今後改善していきたい。

【しが学校支援センターより】

参加者の、研修に対する満足度は、全体的に高かった。

講義において、今年度は学校と地域との協働・連携の他、ボランティア教育を専門とした講師の話であったことから、ボランティア活動に関する感想があった。ボランティア活動の視点から「学校と地域を結ぶコーディネート担当者」等に求められる役割について御教示いただいたことで、多くの方が「とても良かった」「良かった」という感想を持たれた。

「しが学校支援メニューフェア」のブース展示については、支援者の方と直接意見交換することにより、より具体的に出勤授業等の学校支援をイメージできたという方が多くおられた。一方で、コーディネート担当者だけでなく、メニューフェアを広く公開し「学校支援メニュー」の活用につなげられないかという意見もあった。

情報交換会の実践報告については、依頼する側、される側の両方の実践内容や思いを聞くことができ、今後「学校支援メニュー」を活用する際の参考となる内容であった。また、意見交流については、支援者の思いや期待を知ることができ、今後の連携授業に生かしていきたいという意見が多かった。

「しが学校支援メニューフェア」は、今回で10年目の節目を迎えた。来年度は、また新たな受講者による研修となる。1年に1度、教員と支援者が直接意見交換できる場としての「しが学校支援メニューフェア」や「情報交換会」の持ち方について検討していく必要がある。